

題	平成25年度 第2回学校協議会
日時	平成25年11月16日(土) 10:30~12:30
出席者	学校協議会会長、地域代表、地域小中学校校長、PTA会長、同総会代表 校長、教頭、教務部長、1年学年主任
欠席者	後援会代表
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度採択教科用図書について 授業見学・校内見学 平成25年度学校経の進捗状況について 授業アンケート結果とその活用について 学校教育自己診断アンケート項目について 情報交換 その他 <p>○校内見学・授業見学について</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生の声が大きいですね。丁寧で分かりやすい授業でした。 解釈に対する評価 いい所、悪いところを分けてうまい評価をしている。 人数が少ないのは? ⇒少人数、習熟度別授業のため少人数になっている。 廊下も含め環境として学校全体が落ち着いている。 先生たちは、生徒への声かけが多く、生徒の回答に対してもほめ言葉があり意欲を掻き立てる発言で良かった。化学の実験で反応が遅かったのが残念。書画カメラなどの利用で手元が分かればさらに良かったと思う。 生徒に対してフレンドリーで、工夫もあった。古典では、現代にも通じる何か工夫があればもう少し理解しやすかったのではないだろうか。 廊下から見ているとスマートフォンを扱っている生徒もいたのが気になった。 英語の授業で音楽も取り入れられていて良かった。 楽しい授業であった。地域にこのような人材がいるのだから、この人材を活用できればと思う。 小中では、親目線で授業を見てしまうし、大学では敷居が高い。高校が地域の方がもう一度学びたいという気持ちになれてちょうどよいので、ぜひ公開講座をお願いしたい。 子どもがまじめに授業を受けている。中学校ではそこまでいかない。 ある程度の学力が揃っている子どもたちだからだろう。 化学の授業で実験室の利用はどれぐらいか? ⇒年間10回程度の実験を行っている 英語の授業は、子どもたちの中に先生が入っていき、子どもたちとのかかわりが良いと思う。 良いモデルの授業を選ばれたと思うが良かった。 廊下にも前回要望していた絵や書がかけられていて良かった。 板書もパワーポイントなどの活用が主流になってきているので、活用されてはどうだろう。 	

○学校経営計画の進捗状況について

- ・オーストラリアの学校との姉妹校提携がうまくいくとよいですね。
- ・家庭学習の時間が減少しているのが気になる。塾へは入っているのだろうか？
⇒1、2年は行っていないと思う。3年になると行き始める生徒がいる。
- ・学習時間が減少しているということだが、子どもたちが目標を持って学習するのではないか。
⇒職業についての適性をみるアンケートや選択科目決定時の進路ガイダンス、個別懇談などで個別に意識化を図っている。高大連携による講座なども進路部が主体となって開催しており、進路について考える機会を設定している。
- ・学校教育自己診断で学校への満足度が高くなっているのはとてもよい。
- ・10分間の学習を取り入れるということだが、週何回実施するのか。どの部分の学力が落ちているかを何かで測っておられるのか。10分の学習の中でどのような学力を身につけさせようとしているのかを明確にして取り組むのがよいと思う。
- ・入試システム（大学）が変更になるということだが、学校としての対応は何かされているか。
⇒英検は校内受験を勧めて実施している。TOEIC、リスニングについては各学年週1回授業として取り組んでいる。
- ・ALTの授業の実施はどのようになっているか。
⇒1年生で週1回、リスニングや会話の授業を行っており、3年生では選択者に対して英会話の授業を行っている。
- ・家庭学習の時間が少ないとのことであったが、アルバイトをしている生徒がいるのではないだろうか。学校の授業の後、アルバイトに行けば帰宅も遅く疲れているので学習時間はとれないであろう。実態把握ということで、生徒のアンケートを取ってみてはどうだろう。将来に向かって夢を持って生きていく子どもたちを育ててほしい。社会を変えていく力のある生徒を育てる学校であってほしい。
- ・学校の教育活動にOBの活用も考えてはどうだろう。「ようこそ先輩」のような形で先輩にきてもらう企画をおこなってはどうか。